

自己評価・外部評価 評価表

カラーズ24

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼ でき てい	こ ど が 多 い ない	全 く で き て い		
<b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b>								
<b>(1) 理念の明確化</b>								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				・経営理念や行動指針は社員総会で全社員に発表するとともに、所内各所へ掲示して意識付けを徹底している。	
<b>(2) 適切な人材の育成</b>								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			・企業理念は理解しているものの、他のサービスとの違いについての理解は十分でない職員もいるため、月次定例会議等で集団研修を行っている。	
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○				・年間研修計画に基づいて、全体研修を月1回実施しており、都度、利用者に合わせた個別研修・対応方法なども実施している。	
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				・職員の経験、スキルに基づき、適切にシフトを調整して後任者へ同行指導も行っている。	

自己評価・外部評価 評価表

カラーズ24

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼ でき てい	でき が多 くない	全 く でき てい		
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職員が定期巡回配置されたことで連携の強化が確保された。適宜カンファレンスを合同で実施し相互理解、認識の共有を図っている。また特定の連携先である訪問看護ステーションとは利用者の変化を都度連絡し連携が図られている。</li> <li>・密に連絡を取り合いスムーズなケアが行われていると考える。</li> <li>・病状変化等があった際に都度情報提供しながら対応することができ介護と看護の一体的なサービスの提供を行うことができている。</li> <li>・特に問題を感じたことが無かったのでできていると思われます。</li> <li>・患者ノートにて毎回情報の共有ができてい</li> <li>る。</li> <li>・介護看護職間での連携は難しい面があるがカンファレンスを合同開催する事で相互理解が図れていると思ひます。</li> <li>・連絡ノートや電話連絡の有効活用でケアのすり合わせができており問題なくできている。</li> <li>・担当医からは不具合無しと聞いている。神経難病も方もおり24時間体制は今後も必要だと思ひう。</li> </ul>	

自己評価・外部評価 評価表

カラーズ24

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できて いる	るほ ぼで きて い	でき が多 くない	全 く でき て い		
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	○				・夜間を含め利用者の生活に合わせてサービスが提供できるようシフト調整を行っている。	
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			・頂いたコメントを反映したサービス提供に努めている。	
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			・必要に応じて情報共有をしている。今後はICT(介護ソフト等)を活用し、外部とのスムーズな共有ができればと考えている。	
<b>(5) 安全管理の徹底</b>								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				・BCP計画策定し、毎月災害時連絡の訓練を実施している。実際の防災訓練も実施した。また事業所内防犯カメラを設置し、安全を確認している。	

自己評価・外部評価 評価表

カラーズ24

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼ できて い	でき が 多 い ない	全 く でき て い		
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に個人情報取 り扱いの研修を実施し ている。</li> <li>・ファイルは鍵付き書庫 にて厳重保管している。</li> </ul>	

自己評価・外部評価 評価表

カラーズ24

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼ できて い	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い		
<b>II 過程評価 (Process)</b>								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				・24時間の生活リズムを把握した上でサービスを組み立て、利用者の体調変化に応じて見直している。	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			・看護アセスメントを毎月実施しており、計画に反映されている。 ・定期巡回に看護職員が配置されることで共有を強化している。	
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				・過剰なサービスを行わず心身機能の維持回復を常に念頭においた計画作成を心掛けている。	
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が施行されている		○			・医療との連携が徐々にでき始め、痰吸引の特定研修なども迅速に行い、先を見据えた計画作成を行っている。	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				・利用者の状況変化に合わせてサービス追加や、緊急コールについても迅速な対応を行っている。	

自己評価・外部評価 評価表

カラーズ24

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼ でき てい	こ で き が 多 い な い	な 全 く で き て い		
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化に早急に対応できるよう努めている。</li> <li>・適宜カンファレンスを実施している。</li> </ul>	
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の側面、介護の側面と専門性を合わせてサービス内容を切り分けている。</li> </ul>	
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職員が定期巡回に配置されたことで指導助言の機会が確保された。また連携委託先の訪問看護ステーションとはサービス訪問時に情報共有する機会が持てるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職員によるきめ細かい指示、助言が行われていると考える。</li> <li>・情報を適宜共有することで病状変化について連携して対応することができている。</li> <li>・特に問題ないと思います。</li> <li>・必要薬剤の助言や在庫メモ把握など効果的である。</li> <li>・介護看護職間でのコミュニケーションが取れており情報共有がきちんと行われていると思います。</li> </ul>

自己評価・外部評価 評価表

カラーズ24

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼ できてい	こ ど が 多 い ない	な 全 く でき て い		
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括単価なので「たくさん訪問して」というニーズがあるがアセスメントを行い分析して、その人にあったサービスや訪問回数を提供している。</li> <li>・サービス担当者会議は可能な限り医療と介護の専門職2名で参加し、契約説明を徹底している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス前の情報提供説明が分かり易くありました。本人も落ち着いて話が聞ける様子で安心しました。また都度個別に相談しながら本人の意思を尊重しながら進めていけたらいいと思います。サービス担当者会議多職種の方が参加頂きました。</li> <li>・サービスはとても満足です。</li> <li>・本人に合わせサービス提供を考えて頂いていると理解しています。</li> </ul>
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明は行っているが、相手にどこまで伝わっているか十分ではないが、都度個別に説明している。</li> </ul>	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・変更があった際には本人や家族に必ず報告・相談を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変更時はいつも報告を受けています。</li> <li>・その都度連絡頂いています。</li> </ul>

自己評価・外部評価 評価表

カラーズ24

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼ できてい	こ ど が 多 い ない	な全 い く で きてい		
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			<p>・毎月モニタリング報告を実施。また重要な事項についてはケアマネジャーと相談して決めている。</p>	<p>・タイムリーな情報提供でいつも助かっています。体調の変化や本人生活の小さな気づきなども情報提供があり安心してお願いできています。</p> <p>・随時報告書を頂き利用者の細かな要求にも可能な限りご対応頂いています。</p> <p>・毎月訪問しサービスやご本人の体調面など確認させていただいております。</p> <p>・毎月丁寧な報告書をいただいています。訪問さんとも共有ノートで連携とってくださっています。</p> <p>・モニタリングの報告を受け、ご本人の全体的状況を把握できており、また細かい心身の変化も随時連絡を頂けている。一緒に考えてくれるスタンスが有難い。</p>

自己評価・外部評価 評価表

カラーズ24

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほぼできてい	こできてが多いない	なくできてい		
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	○				・計画の目標達成のため、必要に応じて提案を行っている。	
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規契約の担当者会議には必ず参加し、必要な情報提供を多職種で行っている。</li> <li>・但し追加の担当者会議では多職種が集まる日程調整に苦慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議の参加や多職種と日程を合わせて下さり意思交換できています。ありがとうございます。</li> <li>・担当者会議には積極的にご参加頂き訪問看護他、訪問薬局の方とも共通のノートを通して随時情報提供して頂いています。</li> <li>・ご本人に関わっている事業所が多く全員の参加が難しいことは多いですがその都度情報共有を書類や電話でさせていただいております。</li> <li>・担当者会議では日頃のご様子の報告、細かい支援内容の確認等しっかりいただいています。</li> </ul>

自己評価・外部評価 評価表

カラーズ24

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほぼできてい	こできが多くない	なくできてい		
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	○				・保険外サービス(自費サービスや訪問美容など)も含めて提案している。	
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○				・入所前及び退院時のカンファレンスなど積極的に参加し、多職種と連携を図っている。	
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	○				・必要時には連携方法を検討し、積極的に提案している。	

自己評価・外部評価 評価表

カラーズ24

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼ でき てい	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			・自己評価をホームページ上に掲載しており、議事録は、区及び各委員に遅滞なく配布している。	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○		・カラーズレターでも管轄区域包括支援センター、町会、民生児童委員、ケアマネージャー等へ毎月発信している。 ・今後は定期的に居宅介護支援事業所を回り、空き状況などの伝達を展開していきたい。	・カラーズレターを拝見しました。事業者様の特色が伝わる良い広告誌だと思いました。 ・近くにいてもよく分からない他の事業所もあるが、カラーズレターを毎月頂くカラーズさんはいろいろな事業をされていることも民協でできています。 ・うちの職員も毎月のカラーズレターを楽しみにしている。地域の方にもより多く見てもらいたいため、棚の一番上に設置させてもらっている。	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			・ラインワークスにより共有はされているが、職員により理解の差がある。	

自己評価・外部評価 評価表

カラーズ24

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼ でき て い	こ で き が 多 い な い	な 全 く で き て い		
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				・移動時間15分を目安に幅広く地域の居宅に対してサービス提供している。	
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)		○			・過去に参加した定期巡回事業者連絡会や・他社の医療連携会議にも参加するよう心掛けしている。	

自己評価・外部評価 評価表

カラーズ24

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼ できてい	でき て が 多 い ない	全 く でき て い		
<b>Ⅲ 結果評価 (Outcome)</b>								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				・在宅生活の安定、維持が図られていると感謝の声を関係者から寄せられている。	
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている					・24時間365日支え、ご本人やご家族から安心感があると寄せられている。 ・病気になる日常生活でのADL低下、心身の不安定を感じながら過ごす日々、支援の訪問を戸惑いながらも自宅で過ごせる安心感、緊急時転倒有り迅速な対応は感謝しかありません。ヘルパーさんとのコミュニケーション笑顔で話す様子もあり家族としても前向きになれて救われる思いです。 ・急に具合が悪くなり連絡したところ、すぐに来て頂き安心しました。適切な対応をして頂き安心しました。ありがとうございます。 ・本人も家で過ごせて家族としても安心して仕事等に行けています。	○